

小金井北高等学校令和5年度 教科 国語 科目 古典 年間授業計画

教科：国語 科目：古典B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～F組

使用教科書：（「高等学校 改訂版 古典B 古文編」 第一学習社）

使用教材：（「新精選古典文法」東京書籍 / 「古文単語315」桐原書店 / 「センター試験国語過去問題 古典編」尚文出版 / 『プログレス古文完成編』（いづな書店））

	指導内容	科目古典の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	物語 『源氏物語』	○日本の古典を代表する『源氏物語』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を確実に身につける。 ○また、『源氏物語』の表現の特色を知り、物語の面白さや登場人物の心情を読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	12
5月	物語 『源氏物語』 中間考査	○日本の古典を代表する『源氏物語』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を確実に身につける。 ○また、『源氏物語』の表現の特色を知り、物語の面白さや登場人物の心情を読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	16
6月	物語 『源氏物語』	○日本の古典を代表する『源氏物語』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を確実に身につける。 ○また、『源氏物語』の表現の特色を知り、物語の面白さや登場人物の心情を読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	16
7月	物語 『源氏物語』 期末考査	○日本の古典を代表する『源氏物語』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を確実に身につける。 ○また、『源氏物語』の表現の特色を知り、物語の面白さや登場人物の心情を読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	12
8月	随筆 『枕草子』	○随筆の代表作品である『枕草子』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を復習し、定着を図る。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	4
9月	随筆 『枕草子』	○随筆の代表作品である『枕草子』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を身につける。 ○また、『枕草子』の表現の特色を知り、筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	16
10月	物語 『大鏡』 中間考査	○歴史物語の代表作品である『大鏡』を読み解きながら、基本古語及び基本的な文法的知識を確実に身につける。 ○また、『大鏡』の表現の特色を知り、歴史上のエピソードを読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	20
11月	評論 『俊頼随脳』 『無名抄』他 『去来抄』他	○代表的な歌論を読み解きながら、和歌の表現方法や評論用語などを理解する。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	20
12月	期末考査 総まとめ 問題演習	○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、単語テスト、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力の完成及び応用力の養成を図る。	定期考査、小テスト、提出物	16
1月	総まとめ 問題演習	○大学入試問題等の演習を行い、今までの学習のまとめを行う。	定期考査、小テスト、提出物	4
2月		(自宅学習)		
3月		(自宅学習)		

小金井北高等学校令和5年度 教科国語 科目古典B（選択 文系漢文） 年間授業計画

教科：国語 科目：古典B（選択 文系漢文）単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～F組

教科担当者：(①④：塚本◎) (②③：小笠原◎)

使用教科書：(『高等学校 改訂版 古典B 漢文編』第一学習社)

使用教材：(『漢文必携』(桐原書店) 『漢文必携チェックノート応用編』(桐原書店) 『プログレス漢文完成編』(いづな書店) 『共通テスト対策 古典完答22』(尚文出版))

	指導内容	科目古典B（文系漢文）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	句法の復習 逸話 「不顧後患」	○漢文の構造や訓読の基本（訓点・再読文字・置き字など）について復習し、定着を図る。 ○基本句法（否定等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	6
5月	句法の復習・漢詩の成り立ち 中国の詩 「独坐敬亭山」 「除夜寄弟妹」	○漢文の構造や訓読の基本（訓点・再読文字・置き字など）について復習し、定着を図る。 ○基本句法（否定等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。 ○漢詩の仕組みを理解し、味わって読む。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	8
6月	句法の復習 逸話 「不若人有其宝」 問題演習	○基本句法（疑問、反語等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○話の展開を理解するとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、話を読み味わう。 ○副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	8
7月	句法の復習 逸話 「不死之道」 問題演習	○基本句法（詠嘆、願望等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○話の展開を理解するとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、話を読み味わう。 ○副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	6
8月	句法の復習 問題演習	○基本句法（仮定、限定・累加等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	2
9月	儒家の思想 「何必曰利」 明代の文章 「奇花石」 問題演習	○基本句法（比較・比況等）について復習し、定着を図る。 ○話の展開を理解するとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、話を読み味わう。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	8
10月	明代の文章 「道平、人皆由道」 問題演習	○基本句法（選択、抑揚等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○歴史を書き記した文章を正確に読み解き、内容を理解する。 ○話の展開を理解するとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、物語を読み味わう。 ○『史記』と司馬遷について復習する。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	10
11月	古体の詩 「行行重行行」 問題演習	○基本句法（修辞法等）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。 ○話の展開を理解するとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、話を読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	10
12月	期末考查 総まとめ 問題演習	○基本句法（総まとめ）について復習し、定着を図る。 ○訓読や基本的な漢字の語法及び句法を身につけさせる。○話の展開を理解するとともに、登場人物の心理・性格についてそれぞれの言動から把握し、話を読み味わう。 ○適宜、右に掲げた副教材等を用いて、語彙力の涵養、問題演習等を行う。 ○授業時数・生徒の理解度等によって、確認テストや入試問題の演習を取り入れるなどして、基礎力及び応用力の養成を図る。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	8
1月	総まとめ 問題演習	○大学入試共通テスト等の演習を行い、今までの学習のまとめを行う。	小テスト・提出課題・定期 考查 授業への取り組み	2
2月		(自宅学習)		
3月		(自宅学習)		